熊本地域医療センターだより

当院ＨＰはこちらから

院長　杉田裕樹　　令和６年（2024年）２月発行

熊本地域医療センター電話番号（代表）096-363-3311　FAX 096-362-0222

〒860-0811　熊本市中央区本荘5丁目16番10号　https://krmc.city.kumamoto.med.or.jp

2024 2月号　通算225号

熊本地域医療センター　理　念

かかってよかった。　紹介してよかった。　働いてよかった。
そんな病院をめざし、地域社会に貢献します。

contents

わかりやすい診療部案内　～循環器内科・睡眠時無呼吸外来～　Ｐ１
わかりやすい部門紹介　～医事課　病棟医事係～…　Ｐ２
退任挨拶……　Ｐ３
気管挿管実習を終えて……　Ｐ３
出動協力医総会のお知らせ……　Ｐ３
ステップアップ研修のお知らせ……　Ｐ３
友達の輪～Relayトーク第27弾～……　Ｐ４

わかりやすい診療部紹介

～循環器内科・睡眠時無呼吸外来～

循環器内科部長　平井（ひらい）　信孝（のぶたか）

医師会員の先生方におかれましては、平素より大変お世話になり感謝申し上げます。

循環器診療の花形と言えば、冠動脈インターベンションやカテーテル・アブレーションといった侵襲的な治療が思い浮かびます。しかしながら予防医学的観点からは、高血圧や脂質異常症、糖尿病といった生活習慣病をいかに管理し、それらの侵襲的治療を受けなくて済むようにすべきであることは言うまでもありません。同じように睡眠時無呼吸は循環器疾患との結びつきが極めて強いことから、その診断およびマネージメントは重要な課題であります。例えば高血圧患者さんの約59％にAHI（無呼吸低呼吸指数）≧５回／時の睡眠時無呼吸が認められ、心房細動患者さんでも約74％と高率に合併することが知られています（図１）。また我が国の睡眠時無呼吸の有病率は、軽症者（AHI≧５回／時）であれば約2,200万人、治療が推奨されているAHI≧15回／時の中等症以上の患者は約940万人と推計されており、明らかにcommon diseaseであります。このため日本循環器学会では2010年に他の学会に先駆けて「循環器領域における睡眠呼吸障害の診断・治療に関するガイドライン」を発刊しており、2023年には最新の治験を盛り込んで改訂版が発表されています。しかしながら、我々循環器内科医が総じてこの重要性を認識し、積極的に取り組んでいるかと言われれば、まだまだ不十分であると言わざるを得ないのが現状です。大規模な循環器センターであればあるほど、この分野は手薄であると感じています。

そうしたなか、当院では12年ほど前から睡眠時無呼吸の診断・治療に取り組んでおり、現在では循環器診療の大きな柱の一つとなっています。睡眠時無呼吸の診断にはポリソムノグラフィー（PSG）検査を要しますが、この10年余でおよそ600件の検査を行ってきました（図２）。

そのほとんどが医師会員の先生方からご紹介いた

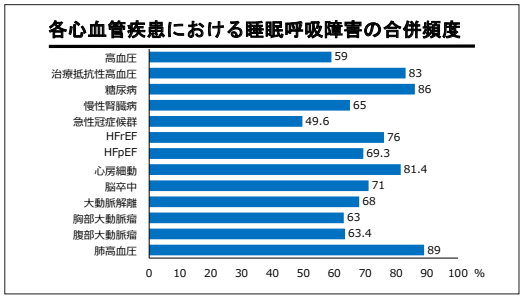

図１

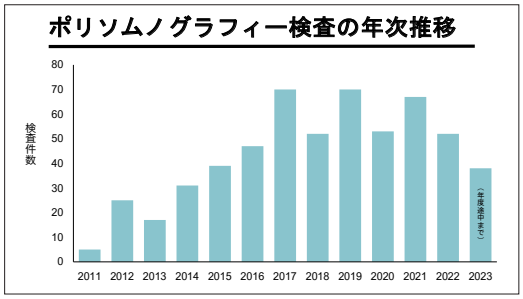

図２

だきました患者さんです。年齢分布では40歳代から70歳代が多く、男性の割合が高いです（図３）。

また、標準体型から肥満１度の体型の方が多く、必ずしも高度肥満者ばかりが検査対象となっているわけではありません（図４）。

また検査結果を見ますと、実に58.9％の患者さんがAHI ≧30回／時の重症無呼吸（図５）であり、74.6％の患者さんがCPAPの適応となるAHI 20回／時を超えていました。これらの結果を踏まえ、当院ではこれまで350例ほどのCPAP（持続陽圧呼吸療法）を導入しています。当院は医師会病院として病診連携を密にこの睡眠時無呼吸診療も行っており、当院でPSG検査を行いCPAPを導入したあと、患者さんが安定して使用できるのを確認したのちには、多くのケースで紹介していただいた先生方へCPAPの維持管理をお願いしております。CPAPの管理に慣れていない施設からのご紹介の場合、また治療抵抗性の場合など引き続いて当院の睡眠時無呼吸外来で治療する場合もありますが、この10年間でCPAPの管理をお願いできる施設が格段に増えてきているのを実感しています。それだけこの疾患について認知度や理解が深まってきたのだと嬉しく思っています。

当院ではこのように循環器疾患の重要なリスクファクターの一つである睡眠時無呼吸について、病診連携を密にしながら診療を行なっておりますので、患者さんのご紹介をどうぞよろしくお願いいたします。また睡眠時無呼吸患者さんの診療について、なにかお困りのことがございましたら、お気軽にお声掛けいただければ幸いです。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

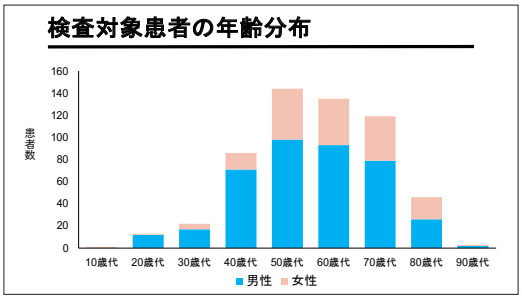

図３

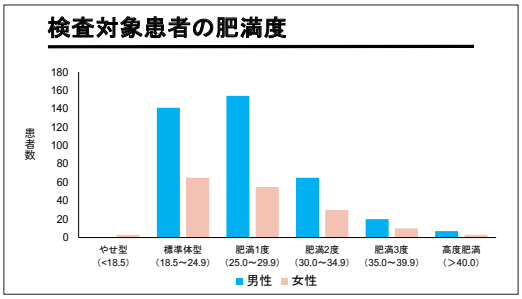

図４

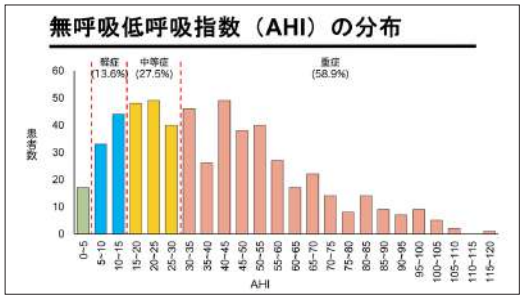

図５

わかりやすい部門紹介 ～医事課　病棟医事係～

医事課　病棟医事係長　恒松（つねまつ）　想介（そうすけ）

病棟医事係は、医事課長のもと８名で構成されています。主な内容としては入院の診療費の会計及びレセプト請求業務になります。入院費はほとんどの場合が高額になるため、高額療養費制度の案内を行っています。以前は限度額認定証の申請を行う必要がありましたが、現在はオンライン資格確認を利用し、申請手続きを行うことなく自己負担限度額区分が確認でき適用させることができます。退院が決まったら入院費の概算をお伝えし、退院時には、高額療養費制度での入院と外来の医療費合算や、乳幼児医療費助成制度の対象の方には払い戻し等の案内をしています。

また、厚生労働省からの調査依頼にも対応し、報告業務を行っています。当院はDPC対象病院ですので、「DPC導入の影響評価に係る調査」への定期報告を年４回、定期報告の再確認依頼を年４回、検証用レセプト提出を年１回行っています。報告事項は多種多様であり医師、看護師、診療情報管理士にも協力を得て報告書を作成しています。また他にも「患者調査」や、「病床機能報告」などの調査依頼にも、総務課や診療録管理室と協力し対応しています。

また施設基準の届出、辞退、充足管理も行っており、業務内容が多岐にわたり、量が多く残業する日もありますが、医事課全員で力を合わせて頑張っています。

退任挨拶

事務長　牛島（うしじま）　敬司（けいし）

医師会員の先生方には、日頃より大変お世話になっております。熊本地域医療センター事務長の牛島と申します。

この度、2024年１月より医師会事務局事務次長として異動することになりました。本稿を書いておりますのが2023年12月ですのでこのように名乗れますのはこれが最後です。在任中には会員の先生方をはじめ、関連する施設の皆さまに、ご支援ご指導を賜り心より感謝申し上げます。

事務長職を拝命いたしましたのが2022年４月、「センターだより」紙面での就任挨拶は同年７月号でした。実は、この直後に元常勤医の先生が、昇進祝いに来た、と訪ねて来られ感激したことを思い出します。所属する事務部はもちろんですが、このように部署を越え、多くの方々に支えられ、（職責を全うできたかはわかりませんが…）大過なく過ごせているのだな、と改めて振り返る機会でした。その後も多くのお力添えを頂き、今に至っております。OB の方を含め熊本地域医療センターの皆さま、本当にありがとうございました。

2024年１月からも、会員の先生方のために、医師会のために、という想いは変わらず、微力ではありますが努めさせて頂く所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

気管挿管実習を終えて

阿蘇広域行政事務組合消防本部
救急救命士　村本（むらもと）　涼（りょう）

この度、令和５年９月19日から12月25日まで、手術室において気管挿管実習でお世話になりました、阿蘇広域消防本部の村本涼と申します。現在は南阿蘇村にある南部分署で救急分隊長として勤務しております。

今回の実習目的は救急救命士の特定行為の１つである「心肺停止傷病者に対する気管挿管」の認定を受けるためのものでした。

実習では、麻酔科の髙群先生、柳先生のご指導の下、挿管の手技だけでなく、呼吸の評価や気道管理についてもご教授くださいました。また、看護師、臨床工学技士の方々と一緒に仕事をする中で、患者様への接遇、医療安全への配慮を学ぶ事ができました。

最後に、挿管実習にご協力頂いた病院関係者の皆様と同意して下さった患者様への感謝の気持ちを忘れず、今後も消防業務に励んで参りたいと思います。約３か月間大変お世話になりました。

出動協力医総会のお知らせ

地域医療連携室長　柳（やなぎ）　文治（ふみはる）

熊本市から熊本市医師会への委託事業である休日夜間診療業務は、多くの医師会の先生方のご尽力により成立しており、平素よりご理解とご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。令和５年度出動協力医総会および懇親会を下記の通り開催いたします。ご多用の折とは存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

1. 日時　2024年３月８日（金）　18：30～
2. 場所　メルパルク熊本

令和５年度　第６回

熊本地域医療センター ステップアップ研修のお知らせ

事例から学ぶ緩和ケア・意思決定支援

講師：緩和ケア認定看護師　宮本 亜紀

日　　時 / 2024年3月28日（木）18：00～18：45　**形　　式 /** オンライン方式（ZOOM）

対　象　者 / 医療機関・訪問看護ステーション・介護施設等に勤務する医療従事者の方

申し込み方法 / QR コード(※1) よりお申し込み下さい。入力されたメールアドレス宛に受付完了メール・研修参加のための ZOOM ID とパスワードが届きます。
（申し込み後３日以内にメールが届かない場合は、担当者までお問い合わせください。）
※熊本地域医療センター ホームページからでも行えます。

申し込み期間 / 2024年2月1日（木）～3月27日（水）
※当日日程調整が難しい方は、担当者にご相談ください。

（※1）申し込み QR コード

【問い合わせ先】熊本地域医療センター　看護部　浅井 栄
TEL：096-363-3311（代表）アドレス：nintei.ns@krmc.or.jp

「友達の輪～ Relay トーク 第27弾」

くまもとブレストクリニック　指宿（いぶすき）　睦子（むつこ）

こんにちは。くまもとブレストクリニックの指宿睦子と申します。地域医療連携室の柳先生より直々に、寄稿を拝命いたしました。

昨年４月に城東町ホテルキャッスル隣電気ビルにて乳腺専門クリニックを開業したばかりです。今月15日で48歳、1994年熊本県立人吉高校卒、2000年熊本大学医学部卒です。卒後、熊本大学第一外科教室に入局し、熊本大学病院乳腺・内分泌外科へ転局後大学院含め16年ほど勤めました。その後３年ほど慈恵病院さん、東病院さん、比企病院さんなど、長年地域の乳がん検診・女性医療に貢献されてこられた病院さんで非常勤医として勤務させていただき、一部の患者様を引き継ぐ形で開業に至りました。

当院の特徴は、女性乳腺専門医がプロデュースしたハード面とソフト面全般、3D マンモグラフィによる検診、吸引式組織生検（10G, 12G）を主体とした診断、遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）含む遺伝性腫瘍にかかわる診療です。

０期での乳がん診断を目指していることもあり、地域医療センターへは乳腺造影 MRI のオーダーでいつも大変お世話になっております。マンモグラフィや US だけでは難しい病変の描出と放射線科の先生方の心のこもった的確なコメントに助けられています。

昨年11月にはオープンシステムで手術をさせていただきました。医学部同窓の外科部長増田先生をお相手に、難治性の良性疾患や医療保険などご事情で他の乳がん治療専門施設へのご紹介が難しい患者様をご紹介させていただきました。病棟・手術室の皆様に快く歓待いただき、大変感激いたしました。

術中談、増田先生は、かつて、私の夫（現大学病院乳腺・内分泌外科教授）に指導を受けられたそうです。そこから回想し、夫→ラガーマン＋医師会で手持ちの名刺を検索しましたところ、佐田クリニックの佐田公範先生が大ヒット。すぐに佐田公範先生にメールいたしましたところ、医学部ラグビー部の顧問をしている夫のこともご存じで次回「友達の輪～ Relay トーク」へのご寄稿をご快諾いただきました。まさに「いいとも！」懐かしいですね。

このように、多くの奇跡的な良い出会いとご縁が重なって今の自分があることを実感する幸せな誕生月です。これからも、人と人、家族や大事な人とのつながりを大切に、乳腺専門診療を通じて愛と感謝をお伝えしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

熊本地域医療センター勉強会のお知らせ

日時／2024年2月26日（月）19：00～20：00

形式／ハイブリッド方式　オンライン参加 or 会場参加

オンライン参加：ZOOM　　会場参加：2階多目的ルーム

申し込み方法／ kumamotochiiki@gmail.com（※1）まで

メールにて「所属医療機関名」および「氏名」を記載し、お送りください。（後日、詳細な参加方法についてご案内いたします。）

※会場参加を希望される方は、事前にお申し込みください。
　人数制限によりご案内できない場合がございます。
※予定が変更になる場合がありますのでご注意ください。

（※1）メール作成用 QR コード

①症例報告

『MRI 検査における安全管理』

放射線科　松川 哲也 医師

②特別講演

『薬剤性肺炎の診断・治療』

CC45：呼吸困難

呼吸器内科　徳永 龍輝 医師

熊本地域医療センター

☎096-363-3311（代表）

■紹介や転院調整はこちら
※地域医療連携室師長が対応いたします。
（平日9:00~17:00）☎096-372-0600

■画像診断・内視鏡などの検査予約はこちら（連携室）
☎096-366-1323

編集後記

Y　懸念されていた Relay トークの「次のバトン問題」がとうとう起こりました。会員執刀で来られるようになった指宿先生に、当院手術室で相談したところ、バトンを受けて、そして、繋いでいただきました。ありがとうございました。

K　カレーライス、甘口・辛口、どちらですか？我が家の子ども達、甘口派はお子様ランチ、辛口派はゴジラのように火を噴く程と極端すぎます。私が時間がないときは、甘口にして辛口派からブーイング。余裕があれば、２鍋で作る。世の中のお母さんは、どうされていますか？

H　とうとうこの時期がやってきました…。そう、「健康診断」です。去年は、過去最高体重を更新してしまい何ともやるせない気持ちになりました。結局、前回健診からダイエットもできず、今回も非常によろしくない結果となりそうです。